



西宮市立高木小学校

TAKAGI
elementary school

光の子 なかよく
知恵ある子 かしく
若木の子 たくましく

令和8年(2026年)
3月24日(火)
No. 15



高木小新 HP

ありがとうございました

3月19日(木)は第85回卒業式でした。152名の卒業生が、小学校の全課程を修了し卒業しました。卒業式でも話をしましたが、寛容な子どもたちで、考えが違っても否定をせず、時間をかけて受け入れる、根気強さがありました。優しさだけではなく強さがある学年でした。素晴らしい卒業式で、気持ちを一つにした歌は感動的なものでした。第85回卒業生らしい優しく力強い歌声が聞けました。立派な卒業式でした。これまでの皆様のお支えに感謝いたします。ありがとうございました。

1,2,3,4,5年生にとっても、大きく成長できた1年間でした。子どもたちにとっての1年間には、大人とは比べものにならないほど、新しい発見と成長に満ちあふれています。成長のスピードも得意なことも人それぞれです。それぞれのがんばりや成長を認め合い、人と比べず、あわてず、ほめて伸ばしていきたいです。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年本校への力強いご支援本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年度以降もどうか高木小学校児童の育ちを見守りご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

校長 畑中 章文

年度末の学校運営協議会では、校長が「学校自己評価」の結果の説明を行い、代表して学校運営協議会委員やPTA総務の方に「学校関係者評価」をお願いしました。授業参観や学校行事などで来校された折の学校の様子や、地域の子供たちの様子、学校便り、地域の方々の声などから評価していただいています。下記の15項目(4段階評価)で回答をいただきました。評価を真摯に受け止め、来年度の教育活動に工夫や改善を加え、発展的な学校運営を行っていきます。1年間、本当にありがとうございました。

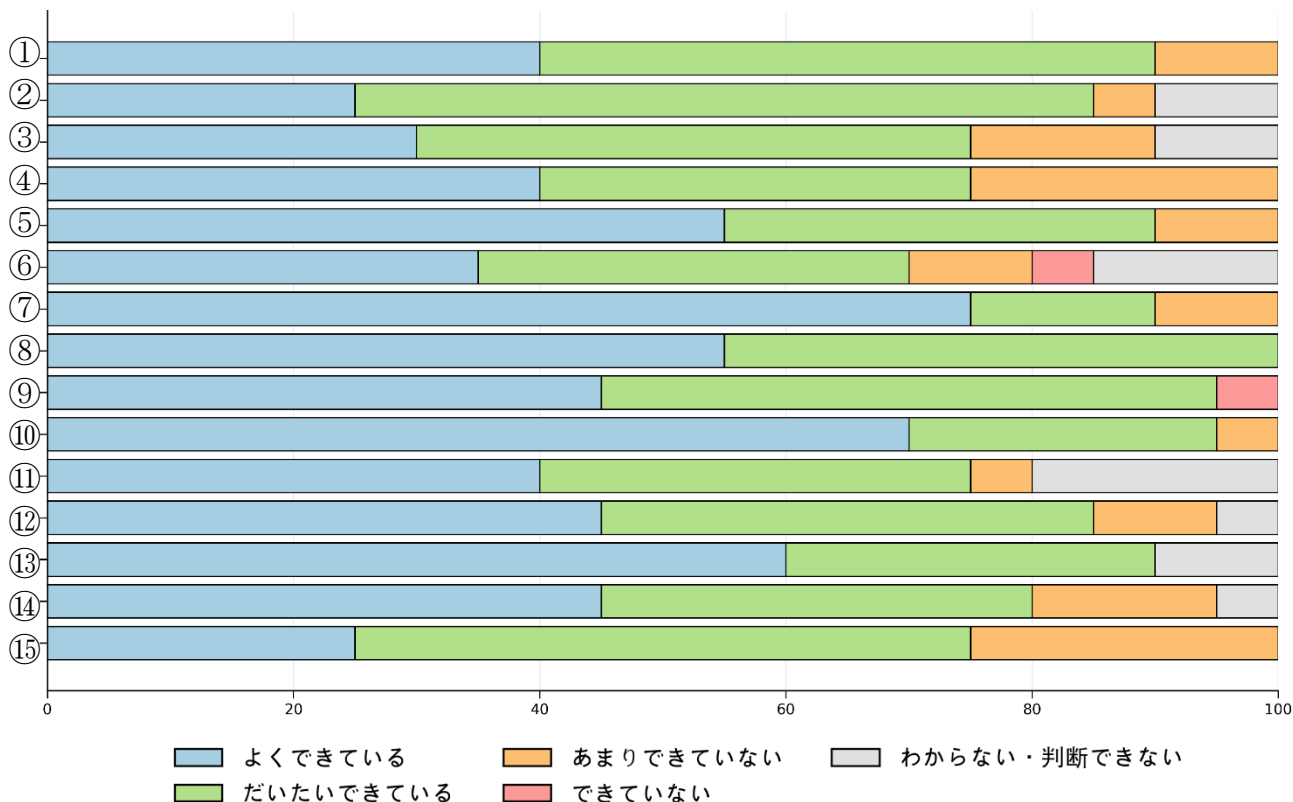
【令和7年度 高木小学校 学校関係者評価】

＜評価項目＞

4:よくできている
3:だいたいできている
2:あまりできていない
1:できていない
0:判断できない

1	学校は、さまざまな機会(学校運営協議会、地域の行事、学校・学年だより、ホームページなど)を活用して、教育方針や教育活動についてわかりやすく説明している
2	教職員は、相互に協力して熱意をもって教育に励んでいる
3	学校は、地域住民を講師として招くなど、地域の教育力を進んで活用している
4	児童や教職員は、地域で行われる行事に積極的に参加・協力している
5	教員は、児童にとって、分かりやすく工夫した学習指導をしている
6	教員は、タブレットを効果的に利用するなど、子どもの学習意欲を高めている。
7	児童が学校行事で活躍し、学校行事は、児童にとって魅力的なものとなっている
8	学校は、お互いの違いや良さを認め合い、温かい人間関係のある仲間づくりに努めている。
9	学校は、家庭や地域との信頼関係を深め、連携して子どもを育てよう努めている。
10	学校は、ルールや公共マナーを守る生活指導を実践している
11	学校は、児童のことで連絡・相談したことは、適切に対応している
12	学校は、家庭や地域と連携して、高木地区の実情に応じた防災教育を進めたか。
13	児童は、意欲的に清掃活動に取り組んでいる
14	学校は、学校施設・設備について、安全や使いやすさを考えて整えている
15	児童は、地域や学校で進んであいさつをしている

学校関係者評価 2025年度 集計結果



- ・⑧⑨⑩など仲間づくり、家庭との連携、生活指導についての項目により評価をいただいています。引き続き、温かい連携を進めていきます。
- ・③④⑥⑮など地域との連携に課題があります。ボランティア募集アプリなどを活用して、ますますの連携を進めていきます。

<自由記述>

- ・④地域行事への児童の参加は多い。教職員は「働き方改革」もあり少ない。
- ・⑮知らない人へのあいさつは自分の身を守るためにも注意が必要。
- ・「まちたんけん」や「大根ほり」など地域の方とのかかわりを大切にした教育を行っている。子どもたちにとって貴重な学びや体験の場となっている。
- ・高学年の算数専科は子どもたちにとって大切だと思います。
- ・子どもたちは、非常に穏やかですくすくと成長している印象を受ける。先生方の穏やかな空気感が良い影響を与えていると思う。
- ・教育活動、教育環境は、学校側の尽力で子どもたちの健やかな成長をはぐくむ場になっている。一方、ハード面ソフト面で、経年劣化や老朽化が見受けられるので少しでも改善してほしい。
- ・おたよりのペーパーレス化が進んでいるのは良いことであるが、情報がちゃんと届いてるか心配なことがある。また、高木小学校独自の言葉（キャットン、事務日、月曜校時など）には注釈をつけていただきたい。

※キャットン…児童会の異学年縦割り活動です。

事務日…教職員の事務処理時間の確保のため、全学年5校時までの授業にする日です。

月曜校時…代休などで月曜日の時間割が不足しないように、別の曜日を月曜日の時間割で学習する日です。

- ・理科室の工夫がとても良いと思います。
- ・高木小学校の児童はみんな明るい子ばかりだと思います。高木公園でよく集まって遊び、こちらから話しかけると元気に返してくれます。
- ・学校評価アンケートは、全保護者を対象にすべきだと思います。